

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和元年 7月 8日

東員町議会 議長

三宅耕三 様

東員町議会

南部豊

研 修 報 告 書

研修期間	元年 6月 27日 (木) ～ 6月 28日 (金) 【2日間】
研修(視察)先	長野県軽井沢町議会・長野県南佐久郡川上村
目的(テーマ等)	・議会とまちづくりを語る会(議会報告会)の手法及び現状について ・通年議会導入による議会活動について ・教育施設(中学校)
資料添付の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。



様式 1 [申し合わせ事項]:【委員会、全協：共通様式】

[氏名： 南部 豊]

研修概要、内容、所感

一日目 軽井沢町の概要

軽井沢町は長野県の東端、群馬県境に位置し、浅間山（標高 2 5 6 8 m）の南東斜面、標高 9 0 0 ~ 1 0 0 0 m 地点に広がる高原の町です。

気候は、避暑地にふさわしく冷涼で、年間平均気温は 9 度前後。

夏でも平均気温は 2 0 度位です。

行政面積は、1 5 6 . 0 3 km²、人口約 2 0 , 3 0 0 人

世帯数 9 , 9 0 0、予算総額、約 2 1 2 億円、財政力指数 1 . 5 3 という町です。

今回 2 点の項目で研修を受けました。

1. 議会報告会の手法及び現状について

問 参加者を確保するための、特に注意する点や積極的に取り組むことは何ですか。

答 地域に出向き住民への報告、説明、情報提供に努めます。

参加する住民からアイデアをいただき、政策立案を念頭に

開催していることから、意見が出やすくするための工夫をしています

また、開催日程などは、ホームページへの掲載、新聞折り込みチラシ
防災無線、NHK データ放送、町内各区長さんへの要請など、周知を行
い、参加者の確保に努めています。

問 報告内容について概ね決めています、質問時間を考慮して時間配分はどのようにされていますか。

答 議会からの報告で 20 分、質疑で 30 分、10 分の休憩、残りの 60 分を
自由な意見交換の時間としています。（概ね 2 時間の予定）

問 「町民が関心を寄せている事項の説明など」とありますが、情報収集はどのようにしていますか。

答 議会内の判断で町民生活に直結すると判断できる内容（水道料の値上
げなど）重点的に説明をするもので、住民の関心などについて情報収
集しているものではありません。

問 報告会后、どのような手順で行政に提言しているのですか。

答 報告会での住民の意見・要望が実際に行政へ（正式な提言書としての）
提言に結びつた例は今のところはない。行政説明員が出席する委員会
で行政側に質し、その回答を議会たよりに掲載し住民に周知します。

問 多種多様な意見がある中、否定的な感情論があった場合の対応は。

答 その意見について誠意をもって拝聴する姿勢が基本と考えています。
感情対立にならないよう気を付けています。

いろいろな問に対し、答えをいただきました。

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 南部 豊 〕

研修概要、内容、所感

2. 通年議会導入による議会活動について

問 通年議会により委員会活動が活発になり、町（執行部）への提言書も、提出されています。提言書を作成するにあたり、町民の声はどのように取り入れて、反映させていますか。

答 常任委員会の所管事務調査の中で、関係住民との意見交換会を開催し、議会とまちづくりを語る会の参加者を対象にアンケートを実施するなどして、住民の声を提言書の作成に反映させました。

問 導入後に判明した利点と課題はありますか。

答 利点としては、次の点が挙げられます。

- ① 議会活動が中断する「閉会中の期間」をなくすことによるチェック機能の充実強化を図るとともに、民意の反映や災害時の緊急対応など、議会の主体性、機動性を高めることができる。
- ② 本会議が議会主体で再開できる。
- ③ 議員の緊張感が高まった。
- ④ 行政側の法第179条の容易な先決処分がなくなった。
- ⑤ 日程調整が楽になった。
- ⑥ 公務災害などの補償が通年で適用される。
- ⑦ 町側で緊急を要する案件がある場合、議長招集で議会をいち早く再開できるため、町側にとってもメリットと言える。

課題については、特にありません。

問 通年議会に変わることにより、議員個人の議会活動はどう変わりましたか。

答 委員会などの開催数の増加により、議員の議会活動が活発になっているため、議員個人の活動には多少影響していると考えます。

問 通年議会導入について、意見が分かれると思いますが、導入した一番の要因は何ですか。

答 議会が主体的に、機能的に会議を開くことができるメリットを生かし議会の充実・活性化を図り、住民からより信頼される議会を目指し、さらなる住民福祉の向上を図ることができると考えます。

問 導入後、何か問題点はありましたか。

答 各委員会開催に係る資料作成、各種調査、事務連絡など、事務局の事務量は増加します。

などの回答をいただきました。

・住民参加型の議論ができる議会活動を目指し、進めて行きたいと思えます。

様式 1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 南部 豊 〕

研修概要、内容、所感

二日目は長野県南佐久郡川上村（川上中学校）において
・教育施設（中学校）建設における補助金等の活用方法を視察研修しました。

初めに、川上村議会議長の渡邊光氏より歓迎の挨拶をうけ、その後、藤原英紀（教育振興課長）から施設建設当時の取り組みについて説明を受けました。

川上村は、長野県の最東部、2000m級の山岳が連なる千曲川源流地域に位置し、冷涼な気候が育てるさまざまな農産物、高原野菜の生産に力を入れ、さらなる農業立村を目指した村です。

中学校校舎の建設には、村内産のカラマツを約 80%使用し、
「祖父母が植え、親が育てたカラマツで、孫が学ぶ新校舎」と言われこの思いの込められた新校舎は、100年持つと言われているそうです。この川上中学校建設は、

事業費 約 18 億円 内 約 9 億 3000 万円 補助金
通常 20%～30%の補助ですが、約 55%近くの補助を受けて完成された学び舎とのこと。（197,400 万円、本体・グランド・外構工事）
エコスクールの認定を受け、文部科学省、NEDO、林野庁、長野県、地域開紋施設の位置づけで国土交通省より夫々から補助を受けた複合多彩な施設であります。

当時は、画期的な中学校建設でした。10年経過した現在の問題点は、どのようなことがありますか。

1. メンテナンスに維持管理経費が 300 万円ほどかかる。
2. 机や椅子が重い。
3. 廊下や壁が木材のため、ささくれなどが発生している。
4. 生徒数の減少、空き室対策。 当時は 168 名 現在 76 名
5. 共同調理場として、小学校 2 校と共同使用。など

問題点も出ていますが、子供たちの学び舎としては、最高の環境が整っています。温厚で優しいそして周りの人に暖かさを与えられる人間形成。ただ、心配があるとすれば、優しいがゆえの、競争社会にどのように対応して行くか、が少し心配もしているとのことのお話もありました。

今回の研修では、当町の中学校建設の課題に参考になればとの思いで、今後いろいろな議論を進めていきたいと考えています。